

生態系生産動態論分野

Ecosystem Production and Dynamics

生態系の物質生産と炭素動態および植物生理生態学的
機能の解明と利用 (<http://www.soma.kais.kyoto-u.ac.jp/>)

(および農学研究科・森林科学専攻・森林利用学分野)

研究室の特徴:

統合的・グローバル・インターナショナル

- フィールド調査・実験に基づいたデータ収集と理論・モデル解析による統合的な研究
- 極域から熱帯まで含んだ包括的研究スタイル

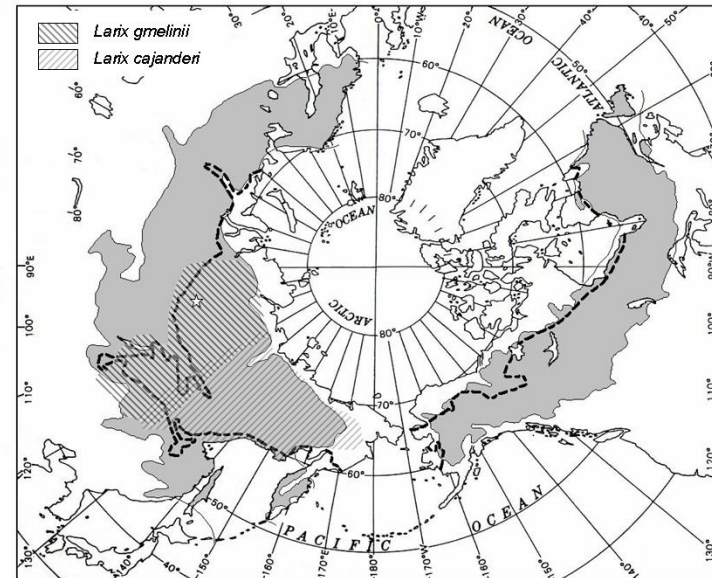
亜寒帯林森林構造復元および炭素動態研究（科研費、JSPS二国間共同研究; カナダ、フィンランド、エストニア、ロシア、アラスカ、モンゴル）、日本の温帯林炭素動態研究（科研費）、アマゾン熱帯林の炭素動態研究(科研費; ブラジル) 東南アジア熱帯林の樹木生態・生理・解剖学的研究、

教育・研究の国際化

研究室在籍の海外からの研究者・学生（フランス、ドイツ、韓国、中国、カンボジア、ミャンマー、セネガル、バングラデシュ 各1人）

各種海外プロジェクト（カナダ・アラスカ・北欧・ロシア・ブラジルにおける海外学術調査）

海外協力大学等（カナダ国立森林研究所北方森林研究センター、ロシア科学アカデミー・スカチョフ森林研究所、フィンランド国立天然資源研究所、ヘルシンキ大学、エストニア・タリン大学、フランス・ナンシー大学、タイ・チュラロンコン大学、ブラジル国立アマゾン環境研究所(INPA)ほか）



Research Topics

▶ 森林構造発達

森林成長の数学モデル

樹木年輪解析と過去の森林構造復元

森林構造復元にもとづいた過去の生産量と気候変動推定

▶ 生態系の炭素動態

森林、ツンドラ、マングローブ生態系などの炭素動態推定

炭素安定同位体を用いた生態系炭素動態推定

生態系純一次生産量に占める細根生産の役割

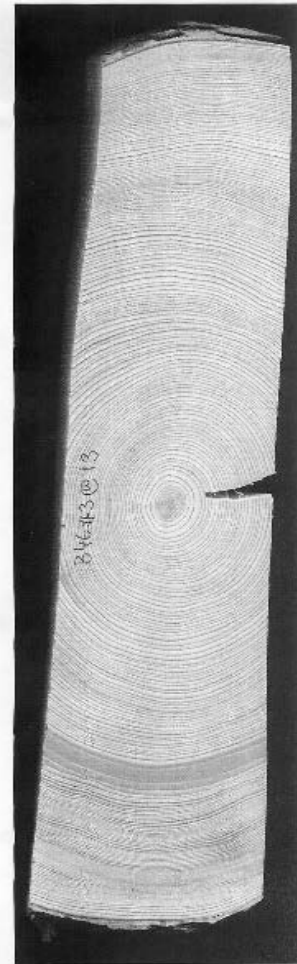
▶ 樹木の生態木材解剖学・樹木生理学

水分通導の生態生理学

木材の解剖学的特徴と水分通導

安定同位体・解剖学的特徴を用いた熱帯林樹種の年輪検出

および森林構造発達様式の推定



構成員と進路

- 教員・研究員 6名
 - 教授 大澤晃
 - 准教授 岡田直紀
 - 助教 檀浦正子
 - 客員教授 Daniel Epron (France)
 - ポスドク(博士 研究員) Mouctar Kamara
Md. Kamruzzaman
- 事務補佐員 1名、教務補佐員 1名
- 学生 21名
 - 博士課程 8名(学堂2名)
 - 修士課程 M2 : 6名(学堂1名)
M1 : 3名(学堂0名)
 - 学部生 (農学部森林科学科)
4年生 : 4名

卒修生の最近の進路

- 2016年度
農林水産省(2人),
滋賀県(1人), 民間企業(3人)
- 2015年度
日本林業技術協会,
博士後期課程進学(3人)
- 2014年度
国際航業, (独)森林緑地整備センター
博士後期課程進学(2人)
- 2013年度
王子製紙(2人), エックス都市研究所